

# 仕事と介護の両立に向けた行動計画

<行動計画対象期間：2015年12月～2018年11月>

## ●全社調査（2015年10月1日～9日実施）※別紙参照によって抽出された課題

- 【課題1】介護保険制度への理解度が低い
- 【課題2】社内規定への理解度が低い
- 【課題3】介護における漠然とした不安を抱えている社員が多い
- 【課題4】年休取得にはほとんど不満はないが、長時間労働改善に向けて各取組が必要

## ●行動計画に策定までの検討経過

### （1）検討方法

9月16日 介護相談員を任命し、プロジェクトチームを立ち上げる

### 【メンバー】

介護相談員（立候補）営業チームより2名

相談役：取締役会より1名

### （2）検討経過

- ①10月14日 調査をふまえた課題抽出と取組内容の検討、役割分担
- ②10月26日 行動計画の検討
- ③11月9日 社内用 仕事と介護の両立リーフレット内容の具体的検討
- ④11月25日 リーフレット内容の決定

プロジェクト開催：9/14、9/28、10/14、10/26、11/9、11/25

## ●行動計画

### 【目標1】：社内学習会の開催による情報提供および情報交換会を実施

- ・2016年1月～介護保険制度の学習会を開催（毎年1回程度開催）  
社内規定についても学習会で改めて共有

学習会前に介護保険制度周知のためのパンフレットを作成、配布します。  
学習会は、プロジェクトメンバーによる制度の説明と参加者からの質疑を予定しています。

- ・2016年10月～制度理解や職場の働き方、介護の実態把握を目的に調査を実施（毎年1回実施）

介護保険制度への理解度や働き方についての認識、介護の実態を把握するために行ないます。内容は2015年10月実施の調査をベースとします。

- ・2017年11月～調査結果をふまえ、必要に応じて社内規定の見直しを検討

### 【目標2】：介護における不安の解消に向けて面談、研修を実施

- ・2015年12月～希望者のみ介護相談員による個人面談を適宜実施

申し込みや面談の方法については、12月全社会議にて報告します。

- ・2016年～全社研修を実施（内容は外部講師による介護体験談）

実際に体験されている方の声を伺い、介護をより身近なものに感じていただくために行ないます。講師の方の選定や研修の時期についてはプロジェクト内で検討し、全社会議で提案します。

2015年11月～2016年3月 課題の検討

2016年4月～取り組みの実施

長時間労働削減に向けた取り組みを中心に検討していきます。内容は3月の全社会議で提案します。

以上

## 【別紙】

### 仕事と介護の両立に関する調査

実施期間：2015年10月1日～9日

対象従業員：19名（回答率100%）

## 【概要】

- ・介護の経験のあるものや現在介護しているものが少ない。
- ・程度の差はあるが、介護には不安がある（「非常に不安」「不安」「少し不安」までで16名）。
- ・公的介護保険制度の理解度が低い（Q12で一番知られている項目は過半数が知っているが、それ以外は半数以下、知っている項目が全くない人が1/3を存在）
- ・社内規定への理解度が低い（「制度の内容がわからない」「制度があるか知らない」までで13名）。
- ・年次有給休暇はほぼ希望通り取れている（「希望通り」「大体希望通り」が18名）が、長時間労働削減への取り組みの必要性は感じている。